



アカギカメムシ



ツルキンバイ



ニホンザル



ヒラタクワガタ



カサカサ



アオハダトンボ



オオバマンサク



●へそ石

愛川町田代の道ノ入沢は、今から2000万～3500万年前の相模湖層群の地層からできています。この「へそ石」は、道ノ入沢から産出したと考えられている鉄丸石で、海底に生息していた生き物の巣穴などを中心に形成された生痕化石です。石の中央にある「くぼみ(へそ)」が生き物の巣穴などの痕跡です。

# 愛川町郷土資料館企画展 開館10年 ～愛川の自然資料～



資料館は平成21年4月23日に開館し、今年で10年目を迎えました。その間、継続して郷土資料の収集を行って来ました。資料の中には、資料館の活動にご協力いただいている方の収集・寄贈資料が多く含まれています。今回の企画展では、これらの自然資料のうち、未公開の資料やレッドデータ種等の目に触れる機会の少ない生き物を中心に、植物、動物、地質の分野ごとに紹介します。

平成30年 **7月21日(土)～8月31日(金)**

**愛川町郷土資料館 企画展示室・エントランスホール**

(開館時間)AM9:00～PM5:00 ※期間中の休館日はありません。

## ●ニッポンイヌノヒゲ

水田や沼地で見られる1年草で、花期は8月～9月です。神奈川県では、川崎市からの古い記録が知られているので、絶滅したと考えられていました。しかし、2011年10月、愛川町の水田から再発見され、植物愛好家の間で大きな話題となりました。



あいちゃん©愛川町

## ■講座「愛川の自然を調べて」

平成30年8月5日(日) 午後1時～3時

場 所：郷土資料館会議室  
講 師：山口勇一氏(神奈川県自然保護協会理事)  
定 員：20人  
参 加 費：無料(あいかわ公園駐車場は有料。普通車 500円)  
申し込み：7月15日(日)午前9時から受付を開始し、定員になり次第、締め切らせていただきます。  
申し込み・問い合わせ：郷土資料館 電話 280-1050

[主催] 愛川町教育委員会 [共催] サークル愛川自然観察会

お申し込み および お問い合わせ先 **愛川町郷土資料館** 神奈川県愛甲郡愛川町半原5287番地 (県立あいかわ公園内) **TEL.046-280-1050**

※本展示に関する事業は全て無料です。お車でお越しの際は、県立あいかわ公園の駐車場を御利用ください(有料)。

# 愛川町郷土資料館企画展 開館10年「愛川の自然資料」



## ハルゼミ

成虫は5月～6月頃に出現し、「ムゼー・ムゼー……ギー」と鳴きます。近年、神奈川県では松林の減少とともに激減し、絶滅が危惧されています。愛川町でも、松林に棲むことから「マツゼミ」として親しまれていましたが、鳴き声を聞く機会は、ほぼ無くなってしまいました。



## チャイロスズメバチ

神奈川県では珍しい種類でしたが、最近記録が増え、愛川町でも半原で見つかりました。モンズズメバチやキイロスズメバチに社会寄生することが知られています。



## エソベニシタバ

神奈川県では愛川町からのみ記録されているシタバガの仲間です。この仲間は、黄色や青色などの美しい下翅を持ち、昆虫愛好家の間では人気のグループです。



## クロモンシタバ

南方系の種で、日本では本州・四国・九州・琉球列島から散発的に記録があります。これまで神奈川県では横浜市の記録のみ知られていましたが、愛川町でも採集されました。



## シロスジコガネ

海岸の松林で見られる沿岸性のコガネムシの仲間です。近年、神奈川県では激減しており、絶滅危惧II類に指定されています。この標本は愛川町半原で採集されたものです。



## ▼ルリビタキ

愛川町では冬から春にかけて見られ、深い森林で観察できますが、少ない種類です。オスの羽は美しいルリ色で、人気のある野鳥です。



## ソウシチョウ

中国から東南アジアが原産の外来種です。在来の生態系への影響が心配され、特定外来生物に指定されています。神奈川県では1983年に初めて確認されて以降、各地で見られるようになりました。



## サツキ

園芸品種のサツキ類の原種で、かつての中津渓谷を代表する植物です。朱紅色の花で初夏の渓谷を彩りました。中津渓谷はサツキの分布の東限とされ、学術的にも貴重な産地でした。



## アナグマ(頭骨)

平地から丘陵地の森林に生息していますが、平地では少なくなっています。愛川町では仏果山や高取山など、中津山地を中心に分布しています。

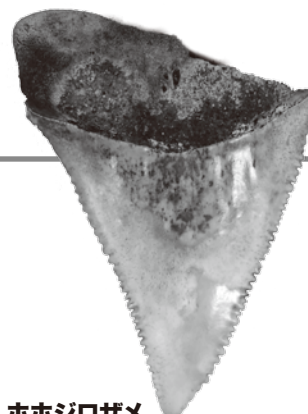
## ハイタカ

神奈川県では冬鳥、留鳥として森林に生息しますが少ない種類です。愛川町でも仏果山や高取山など、中津山地を中心に見られますが、多くはありません。



## タヌキ(頭骨)

夜行性なので、昼間はあまり見られませんが、平地から山地、住宅地周辺まで広く分布しています。登山道では「ため糞」もよく見られます。



## ホホジロザメ

約300万年前の中津層群の地層から見つかったサメの歯の化石です。



## オオツギガイモドキ

約300万年前の中津層群の地層から見つかった二枚貝の化石です。